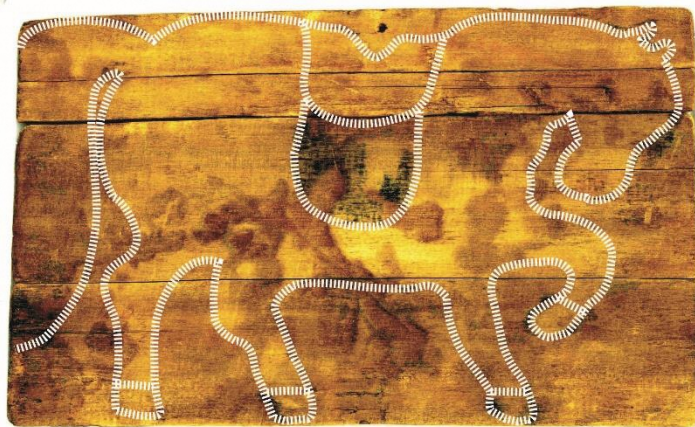



読むのがむずかしいときは、おうちの人といっしょに読んでね。

もんだい 1	答えは①の「志那神社本殿」です。 志那神社本殿は鎌倉時代前期（永仁6年（1298））に作られた建物で、草津市内に現存する最古の寺社建築です。
こたえ ①	②の石津寺本堂は南北朝時代（延文4年（1359））、老杉神社本殿は室町時代（宝徳4年（1452））の建物です。 この3つの建造物は、いずれも国指定の文化財です。

もんだい 2	答えは①の「馬」です。 描かれていた線をなぞったのが下の写真です。見てのとおり馬の絵が描かれていることから「 <sup>え</sup> 馬」と呼ばれています。 この絵馬は大將軍遺跡の奈良時代の井戸から出土したものです。現在の「絵馬」は、祈願成就やお祓いのため、神社や寺院に奉納するものとして広く知られていますが、それらとは形状が異なり、ヒノキ板に墨で馬の輪郭が描かれています。輪郭の内側の板がやや白く変色しており、何らかの顔料で彩られていたと考えられています。上部に小さい穴が空いていることから、紐などを通して使用していたことが分かります。
こたえ ①	また、井戸の中から出土しているため、役割を終えた後に捨てられたのではないかと考えられます。



<p>もんだい 3</p>	<p>答えは③の「石」です。</p>
<p>こたえ ③</p>	<p>木内石亭は江戸時代、珍しい石を収集していたコレクターとして広く知られていた人物です。</p> <p>歌川広重の浮世絵にも石亭の奇石コレクションが描かれるなど、多くの人が石亭の集めた石を見学していたことがうかがえます。</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>赤い線で囲んでいる部分に描かれているのが、木内石亭の奇石コレクションです。</p> <p>石亭の集めた「奇石」には、珍しい石や変わった形の石、化石など多種多様な石があったそうです。</p> <p>(草津市蔵) 歌川広重画 「五十三次張交十四 京・大津・草津」</p> </div> </div>

<p>もんだい 4</p>	<p>答えは②の「材木商」です。</p>
<p>こたえ ②</p>	<p>田中七左衛門本陣は本陣職のかたわら、材木商を営んでいました。このため、田中七左衛門本陣は「木屋本陣」とも呼ばれ、草津宿にあったもう1軒の本陣「田中九蔵本陣」と区別されていたようです。</p> <p>現在、史跡草津宿本陣には当時材木の切り出しなどに使われていた道具類が残り、展示されています。</p>

<p>もんだい 5</p>	<p>答えは③の「黒土遺跡」と④の「中畑遺跡」です。</p>
<p>こたえ ③④</p>	<p>瀬田丘陵生産遺跡群は、草津市と大津市にまたがって分布する遺跡群です。</p> <p>①「源内峠遺跡」と②「山ノ神遺跡」はいずれも大津市に位置する遺跡で、瀬田丘陵生産遺跡群に含まれています。</p> <p>一方、③「黒土遺跡」は JR 南草津駅の近くに、④「中畑遺跡」は草津市役所の近くに位置しており、いずれも瀬田丘陵からは離れた場所です。</p>

**【問合せ先】**

草津市歴史文化財課 〒525-8588 草津市草津三丁目 13-30

TEL : 077-561-2429 FAX : 077-561-2488 E-mail : bunkazai@city.kusatsu.lg.jp